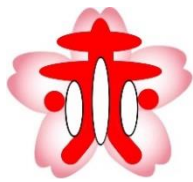


◆ 学校教育目標:共に学び、共に輝き、未来を切り拓く「あかいつ子」の育成 ◆

令和5年度 赤井小学校

令和5年9月7日 NO.5



校長室だより 笑顔



さくらだいこくん

今年度のテーマ **聴き合う**

◆ さくら児童会スローガン: **たくましく 笑顔いっぱい あかいつ子** ◆

挑む・
やい抜く



大槻俊斎先生の生き方から学び 夢や志を持つ子どもたちに

～9月は「俊斎月間」です～

赤井小学校の特色ある教育「俊斎学習」。これは、赤井の偉人であり、近代医学の道を拓いた「大槻俊斎」の生涯や生き方から学び、地域への関心を高めるとともに、志を持った子どもたちの育成を目指す学習です。平成2年から教材として少しずつ取り入れ、平成28年からは、道徳の時間や総合的な学習の時間を中心に本格的に始まりました。子どもたちに夢や志を持って成長してほしいとの願いから教材化され、現在まで続いています（使用している副読本の挿絵は、現PTA会長の相澤宏智さんによるものです）。

なかでも9月を「俊斎月間」と位置付け、全学年が発達の段階に応じた内容や目標で大槻俊斎先生の生き方について学んでいます。9月8日の学習参観日では、その学習の一部をご覧くださいます。

さらに、保護者の皆様の全体会では、大槻俊斎の教材化に中心となって取り組まれた外処健一さん（学校運営協議会副委員長、大槻俊斎部会）からお話をいただきます。俊斎学習のあゆみや、教材化に込めた願い等について保護者の皆様にも知っていただき、ご家庭も一緒になって子どもたちに夢や志を育み、その達成のために挑戦しやり抜く心を育てていきたいと考えます。全体会へのご参加もよろしくお願いたします。

大槻俊斎とは…

江戸時代後期の蘭方医。天然痘が江戸で大流行した際に、西洋医学である「種痘」を普及させ、多くの人を病から救いました。俊斎が中心となって設立した「種痘所」は、のちに幕府の「西洋医学所」となり、俊斎は初代頭取となりました。

俊斎は桃生郡赤井村（現在の東松島市赤井）星場に生まれました。「病気で困っている人々を助きたい。」と医学の勉強に励み、江戸、長崎で学んで医者になる夢を叶えました。俊斎が初代頭取となった「西洋医学所」は、東京大学医学部の前身と言われています。俊斎は、東大医学部の初代総長とも言えるのではないのでしょうか。俊斎が江戸に出る際には、赤井村の人々がお金を工面してくれたのだそうです。きっと、俊斎の夢に向かう情熱が、人々の心を動かしたのでしょね。



9月1日には、6年生が「伝えよう 赤井の偉人 大槻俊斎」の学習のスタートとして、外処さんからお話をうかがいました。このお話をもとに、自分が疑問や興味を持った点の「問い」を立て、調べてまとめて交流する探究的な学習を行います。一人一人の志につながる学習になることを期待しています。

やい抜く

子ども未来サミット開催「東松島ゴール」をめざして

7月29日、東松島市の小中学生の代表がデジタルメディア・コントロールの取組について話し合う「子ども未来サミット」が開かれました。赤井小学校からは、6年生の代表4名（角張有さん、亀川田音我さん、横山明日奏さん、小野春翔さん）が矢本二中学区の取組を紹介したり、一人一人がよりよく「でめこん」に取り組むためのチェック項目について意見を交わしたりしました。

さらに、話し合いの内容を全校児童に報告する動画を作成し、児童集会で報告しました。その動画を学習参観日の全体会で保護者の皆様にもご覧いただけます。

今週は「でめこんウィーク」です。4～6年生は毎朝、昨日の生活を振り返って「でめこんアンケート」に答えています。これまで、児童会が中心となって「でめこん」に取り組んできたものの、前回の「でめこんウィーク」では、「メディアの使用を制限できるかどうかは、一人一人の意識によるところが大きい」「なかなか改善が見られない児童も多い」という課題が見られました。未来サミットへの参加やこの動画の視聴が子どもたちの意識付けへの起爆剤となること、ご家族のご理解とご協力がさらに得られることを願っています。



全国学力・学習状況調査の結果（質問紙調査）から

「全国学力・学習状況調査」（6年生が4月に実施）の結果が公表されました。8月23日付けの「まなび」でお知らせしたとおり、本校では国語、算数ともに全国平均正答率を上回りました。子どもたちの頑張りと学力向上に向けた全校的な取組の成果と考えます。また、質問紙調査の結果を見ると前向きな回答をしている児童が多く、保護者の皆様、地域の皆様に見守られて心もたくましく育っていることがうかがえました。

今後も、「赤井っ子の夢をかなえる5つの鍵（知・徳・体・家庭との連携・防災）」のもと、地域と共に育つ学校づくりを進め、児童の「出番・役割・承認」を大切にされた教育活動に取り組んでまいります。

<質問紙調査(学習や生活習慣等についての意識調査)の結果について>

◎「友達関係に満足」「自分と違う意見について考えるのは楽しい」「人が困っているとき進んで助ける」「地域や社会をよくするために何かしてみたい」「国語(算数)の勉強は好き(よく分かる)」等の項目について、肯定的に答えた割合が全国・県を大きく上回っていました。その他の項目でも、肯定的に答えた割合が全国・県を上回っていました。学校での生活や学習に前向きに取り組んでいる児童が多いことが分かりました。

◎学習についての項目「工夫して発表する」「自分で考え自分から取り組む」「話し合っって考えを深める」「分かった点やよく分からなかった点を次の学習につなげる」「学んだことを他の学習に生かす」等も全国・県を大きく上回りました。学びに取り組む姿勢や意識が、テストの点数にもよい影響を与えていることがうかがえます。協同的な学びや自ら学ぶ力の育成は本校で力を入れているところです。今後も全校体制で取り組んでいきます。

▲家庭での学習時間や読書時間についてはばらつきが多く、なかには十分でない回答も見られました。全国調査の結果分析から読書をしている児童の正答率が高いことが明らかになっています。今後も読書推進に力を入れてまいります。

▲生活習慣については、全員が「朝食を毎日食べる」と回答している一方、睡眠時間(就寝時刻)には課題が見られました。脳は寝ている間に記憶を整理・強化すると言われています。心身の健やかな成長のためにも、今後も「でめこん」等で生活を整える力を育てていきたいと考えます。